

日本大学第三学園生徒支援会レター 第4号

2011年 5月 9日発行
発行:生徒支援会役員会

新入生の皆様 ご入学おめでとうございます！

桜が咲き誇るバス通りをくぐり抜け、晴れて日本大学第三中学・高等学校にご入学された生徒、保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。3月11日の東日本大震災後の復興の中、無事入学式が執り行われたことに喜びもひとしおのことと思います。昨年から発足いたしました生徒支援会としても、今年度二年目を迎え、心新たに活動を本格化できればと思います。



生徒支援会とは？

基本的には、教職員と在校生保護者による組織であり、いわゆるPTAと同じ運営ですが、主役である在校生を全面的にバックアップし、より良い学校環境、教育環境の実現を目指し、昨年5月に組織されました。



5月28日(土)12:00より、生徒支援会定期総会開催！

本来であれば、生徒支援会について新入生の保護者の方々に早くご説明しなければなりません。今年度は設立二年目であること、東日本大震災の影響もあり、説明会を実施できませんでした。一方、次期役員、クラス幹事に関する保護者アンケートを4月に配布させていただきました。説明会も開かず、皆様のご意向を伺うアンケートの配布となってしまったことに対し、この紙面を借りてお詫びいたします。来る5月28日には、年度初めの定期総会を講堂にて開催したいと思っております。その際、生徒支援会の組織、活動等についてご説明させていただければと思います。

生徒支援会定期総会で、会則の改定承認、新役員選出等を行います！

5月28日の定期総会では、昨年度一年間を費やし取りまとめを行いました会則の改定に関する討議、予算案の承認、新役員の選出、今年度の活動方針の討議等を予定しています。昨年度一年間の活動を通じて、見えてきたもの、整理できたもの、今年度へ申し送りしたもの等を説明しながら、今年度の活動方針をお伝えしたいと思います。設立二年目の大事な年。この生徒支援会活動が、上手く軌道に乗りますようご協力をよろしくお願いします。



5月28日(土)生徒支援会定期総会欠席の方は、委任状の提出をお忘れなく！

皆様のお手元に、定期総会議案書、会則の改定に関する資料、生徒支援会活動説明資料が届いていると思います。定期総会へ参加される前に一通り目を通していただければと思います。定期総会は、生徒支援会活動の最高議決機関であり、多くの承認事項があります。総会は会員総数の三分の一以上の出席によって成立し、議事は出席者の過半数の賛成によって決定します。ただし、委任状をもって出席にあてることができることになっています。やむを得ず定期総会に欠席の方は、委任状の提出をお願いします。今年度は、学校と保護者の双方向のコミュニケーション等を通じて、より活発な生徒支援をしていきたいと考えています。また、生徒支援会活動を知る機会にもなりますので、是非足をお運びください。ご協力をお願いします。

2月26日(土) 第二回幹事会開催！

クラス幹事にお集まりいただき、第二回幹事会を開催しました。今回は、茶話会形式で実施しました。今年一年間の活動を通じて、多くの課題が見えてきました。しっかりと今年度の新役員に申し送りを行い、有意義な活動ができるようにしていきたいと思っています。

「紆余曲折があつて大変な一年」

理事 塩沢文敏

一昨年の春、桜井理事長の、「今までのように、卒業生の保護者が役員をやって、『学園支援のために』会費を使うのではなく、現役の生徒の保護者と先生方が一緒になって、『生徒のために』何ができるかを考え、そのために会費を使い生徒を援助する会にしたい。そして、既存のPTA組織とは違う会にしたい」という強い希望の下で生徒支援会が発足しました。こうして、一年が経過した今、振り返ってみると役員会も各委員会もこれからのこの会の道筋をつけようと必死で、結構紆余曲折があつて大変な一年になりましたが、少しずつでも学園の様子が保護者の皆様に伝わるような工夫ができるようになってきました。これからは、クラス幹事の方が中心となって保護者とクラス、学年、学園双方向の意見交換ができるようになっていければと思っています。

「本当の生徒支援会活動とは？」

会長 浅井文輔

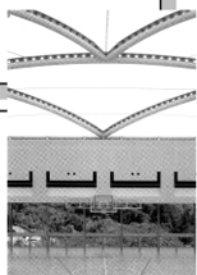
「子供から配布物を受け取れないので、ホームページ等で周知して欲しい。そうすれば、子供に尋ねることができるから。」というお話を保護者の方から耳にするたび、その通りだよな一と思っていました。その後、東日本大震災が起こり、改めて「絆」が強く叫ばれるようになりました。そこで、ふと考えました。子供から配布物を受け取れないから、インターネットを駆使して問題を解決するのがいいことなのか？と。人のコミュニケーションの原点は家族だと思っています。東日本大震災をきっかけに、新しい日本の姿を模索する動きもあります。これを機会に、我が家でも家庭での会話を見直したいと考えています。来年度は生徒支援会のホームページを立ち上げることになると思いますが、家庭での会話を見直すことから、本当の生徒支援会の活動方針が見えてくる気がしています。

「自由に意見を述べさせていただきました。」 副会長 木津久子

昨年の5月に役員依頼をお受けしてから一年、日大三高の生徒の皆さんの為にお役に立ちたいという一心で活動させていただきました。浅井会長の大変優れたリーダーシップのもと、保護者役員の目線で自由に意見を述べさせていただき、生徒支援会設立元年の活動を有意義に行うことが出来たと思います。もちろん課題も山積ですから、今後も活発に議論が出来たらと思います。また他学年の保護者の方といろいろな情報交換ができ、とても楽しい一年でした。

「大きな意味のある一歩」 副会長 大竹さな江

教職員と保護者のパイプ役の責任を担いスタートした生徒支援会。生徒の学校生活の充実・教育の向上等のための意見交換の場ができた事は、今後の学園建設において大きな意味のある一歩だと実感致します。校長先生への質問などを通して皆様の意見や要望を受け入れる場にもなりました。試行錯誤の一年目、「生徒のために何ができるのか！」との根幹を共有し、役員として生徒支援会の活動に参加させて頂けたことに感謝致します。ご協力有り難うございました。



「特に楽しかったのは三疊祭！」 理事 井上美智子

右も左もわからないまま始まった役員でしたが、仲間に恵まれ楽しく一年間を過ごすことができ感謝の気持ちでいっぱいです。特に楽しかったのは三疊祭！お団子やパンを販売しました。保護者も学校行事に主体者として関わることができ学生気分を味わうことができました。目には見えないところでの苦労も多かった気がしますが、それでも今後学校がよりよい方向へ向いていくならその礎を築けたのでは・・・と思う今日この頃です。本当にありがとうございました。

「元おゆずり会会長として」 理事 松本真理子

生徒支援会の準備委員会として塩沢先生から元おゆずり会の会長の意見を聞かせていただきたいとご連絡いただいたのは昨年の4月でした。後援会がなくなり、今後は在学生の父兄から役員を選出し、委員会を発足するということでした。まさか自分自身がその一員になるとは思ってもおりませんでした。私は既に会が活動し始めてから二ヵ月後に理事という形で参加させていただきました。リサイクル委員会の担当という事で、前年までのおゆずり会の活動内容をお知らせし、お手伝いしました。手探りで数ヶ月間でありましたが、今後の生徒支援会の発展をお祈りしたいと思います。

「来校機会が増えました。」 理事 生平康子

一年間の任期を終え、初めての体験をさせて頂き大変苦労も多かったですが、確かに学校に来校機会が増え、子供の生活の様子なども以前より実感出来る様になりました。事前に生徒支援会活動内容を把握しておらず、一緒に活動して頂いた役員、クラス幹事の方々にはお世話になりました。本年度支援会役員になられるの方々には、発足二年目と言う事で保護者の方々も期待していると思いますし、我々役員も楽しみにしています。

「学年を越えて仲間が出来楽しかった。」

理事 福原久美子

去年度より生徒支援会が発足して、簡単にお引き受けしましたが、やはり初年度という事で思ったより話し合わなければならぬ事が多く、かなりの頻度で学校へ伺う事になりスケジュール的に厳しい時もありました。今年度は二年目ですので多少はスムーズに進むのではないのでしょうか…。色々な意味で良い経験となった一年間でした。学年を越えて仲間が出来楽しかったです。会長はじめ役員の皆様ありがとうございました。

「和やかな雰囲気の良い役員会」

書記 猪口多美子

早いもので入学後一年が経ち、親子共々学校に慣れ新しい春を迎えました。昨年度、役員をお引き受けするにあたり、PTAではなく生徒支援会ということで、少々戸惑いもありましたが、学校と在校生徒保護者のパイプ役として活動させていただきました。発足一年目の生徒支援会でしたが、惜しみなく力を出される方々に接し、頭の下がる思いでいっぱいです。和やかな雰囲気の良い役員会で一年間お世話になり、とても有意義でした。ありがとうございました。

「なぜ私が？ でも有意義な一年でした。」

会計 加藤幸子

生徒支援会が立ち上がり、縁あって役員を引き受けることになりました。なぜか、会計という役職になってしまった私…。「私に務まるのか」と、とても不安でした。しかし、たくさんの方々を知り合えた有意義な一年でした。そしてその中で活動が出来たことをうれしく思います。一年間ありがとうございました。今後とも生徒支援会へのご理解・ご協力をお願いいたします。

「自分が出来ること、出来る時に参加」

監事 三澤富美子

生徒支援会を立ち上げた年ということで、何をするにも手探りで始まりました。リサイクル委員会では、三覺祭での制服リサイクル販売に向け幹事の方々が手分けをし、制服の回収及び仕分け作業を行いました。皆で分担し、自分が出来ること、出来る時に参加、作業を進めていきました。また、役員会は他学年の保護者の方と知り合うきっかけも出来、有意義なものでした。今後はクラス幹事が2名に増えるので、お互い相談しながら、委員会活動やコミュニケーションづくりを進めていただければと思います。一年間、お世話になりありがとうございました。

編集後記

会長 浅井丈輔

いろいろな難局に直面しながらも、皆様のご協力で支えられながら、生徒支援会活動一年目が終わろうとしています。一言で言えば生徒支援会活動を行うには、事前準備不足。昨年は生徒支援会準備委員会として活動すると宣言した所以です。会員皆様にとっては、期待はずれと思われるかもしれませんが、仕方がないと思っています。一方、今年一年で多くのことが判明し、学校内の認識も随分変わったと思います。ようやく会員皆様の期待に沿える活動ができる礎ができ、新たな生徒支援会活動のスタートが切れると思います。さあ、期待してください。そして皆様が求める生徒支援会活動に少しでも近づくように、更なるご協力をお願いしたいと思います。昨年度の皆様のご理解ご協力で深く感謝申し上げます。

